

新人看護師のクリティカルシンキング能力と 情報活用能力の特徴とその関連性

小林由里* 小笠原知枝** 河合まゆみ*** 中居由美子****
播金ヤスミ* 對中百合**** 新井祐恵***** 伊藤明子*****

The Characteristics and Association between Critical Thinking Ability and Information Literacy in Novice Nurses

Yuri KOBAYASHI* Chic OGASAWARA** Mayumi KAWAI*** Yumiko NAKAI****
Yasumi HARIKANE* Yuri TAINAKA**** Sachie ARAI***** Akiko ITO*****

*奈良学園大学保健医療学部 (〒631-8524 奈良県奈良市中登美ヶ丘 3丁目 15-1)
* Faculty of Health Sciences, NARAGAKUEN University. (3-15-1, Nakatomigaoka, Nara-City, 631-8524, JAPAN)
**人間環境大学大学院看護学研究科 (〒474-0035 愛知県大府市江端町 3丁目 220番地)
** University of Human Environments, Graduate School of Nursing (3-220, Ebata-cho, Obu-City, Aichi, 474-0035, JAPAN)
***藍野大学短期大学部第二看護学科 (〒584-0076 大阪府富田林青葉丘 11-1)
*** Aino University Junior College (11-1, Aobaoka, Tondabayashi-City, Osaka, 584-0076, JAPAN)
****畿央大学健康科学部 (〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2)
****Kio University Faculty of Health Science (4-2-2, Umaminaka, Koryo, KitaKatsuragi, Nara, 635-0832, JAPAN)
*****甲南女子大学看護リハビリテーション学部 (〒658-0001 兵庫県神戸市東灘区森北町 6-2-23)
***** Konan Women's University Faculty of Nursing and Rehabilitation (6-2-23, Morikita-machi, Higashinada-ku, Kobe, 658-0001, JAPAN)
*****元畿央大学健康科学部 (〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2)
*****Kio University Faculty of Health Science (4-2-2, Umaminaka, Koryo, KitaKatsuragi, Nara, 635-0832, JAPAN)

要旨

【目的】新人看護師のクリティカルシンキング能力と情報活用能力の特徴とその関連性を明らかにする。【方法】看護師712名に質問紙調査を実施した。質問紙は属性、批判的思考態度尺度(常盤ら,2010)、情報活用の実践力尺度(高比良ら,1999)で構成した。分析方法は記述統計、Spearmanの相関係数、重回帰分析を用いた。【結果】クリティカルシンキング能力は、協同的態度が高く、看護師との比較では、探求心が高く、論理的思考への自信が低かった。情報活用能力では、収集力、発信・伝達力が高く、看護師との比較では表現力が高かった。両能力は有意に関連しており($r = .449, p < 0.1$)、クリティカルシンキング能力には情報活用能力と看護基礎教育課程が影響していた。【結論】クリティカルシンキング能力を高めるには情報活用能力の判断力、創造力、処理力を育成する必要性が示唆された。

キーワード： 新人看護師, クリティカルシンキング能力, 情報活用能力

1. はじめに

近年、医療技術の進歩、患者の高齢化・重症化、平均在院日数の短縮化等、保健医療を取り巻く環境が変化している。それに伴い看護業務も複雑化しており、看護師は複数の患者を同時に受け持ちながら、優先度を判断し、多重課題に対応しなければならない。このような状況に適切に対応していくためには、看護師の看護実践能力の向上を図ることが必須である。新人看護師は、就職後から複数の患者を担当し、タイムプレッシャーの中、看護基礎教育で学んだ知識や得た情報を適切に処理し、看護実践の中で思考し判断して行動することが求められるが、看護実践能力の中でもアセスメント力がまだ身につけていないことから、多様で複雑な状況にある看護場面における問題解決思考に躓いているように見受けられる。松谷ら¹⁾は、看護実践能

力の構成要素であるアセスメント力を「情報を適切に取り扱い、クリティカルシンキングと分析および知識の統合を通してアセスメントを行う能力」と定義している。すなわちアセスメント力の向上には、情報を活用する能力やクリティカルシンキング能力を高めることが必要である。看護基礎教育におけるクリティカルシンキング能力と情報活用の実践力の関連性についての研究²⁾では、情報活用能力を伸ばすことがクリティカルシンキング志向性や学習におけるメタ認知を高めることが示唆されている。

また、「情報化の進展に対応した初等中等教育における情報教育の推進等に関する調査研究協力者会議」では、情報活用能力の育成を目標とした教育活動が必要であることが述べられている³⁾。しかし新卒看護師のアセスメント能力は、「収集力」での情報活用能力を基盤にしている現状と、その他の情報活用能力が看護実践に活用され難い現状

がある⁴⁾。

これらのことから、新人看護師のクリティカルシンキング能力と情報活用能力の特徴とその関連性を明らかにすることは、今後、臨床における新人看護師のクリティカルシンキング能力向上のための教育の参考となると考えた。

2. 研究目的

新人看護師のクリティカルシンキング能力と情報活用能力の特徴とその関連性を明らかにする。さらに、新人看護師のクリティカルシンキング能力に關与する要因を抽出することを目的とした。

3. 方法

3.1 本研究の用語の定義

クリティカルシンキング能力：「懐疑的態度」「協同的態度」「根気強さ」「探究心」「論理的思考への自信」からなる、適切な基準や根拠に基づく、論理的で偏りのない思考ができる能力⁵⁾とする。

情報活用能力：課題や目標に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受けての状況などを踏まえて発信・伝達できる能力³⁾とする。

新人看護師：Benner (2005) の臨床看護実践の熟達段階に基づき、卒後就業年数2年未満の看護師とする。

看護師：卒後就業年数2年以上の看護師とする。

3.2 研究デザイン

新人看護師のクリティカルシンキング能力および情報活用能力の関連性について、看護師との比較により明らかにする関連探索型研究。

3.3 対象およびデータ収集方法

病床数300床以上の3病院に勤務する看護師(保健師、助産師、看護師長を除く)1,075名とした。調査期間は平成24年5月～6月。調査を依頼する施設の看護部長に本研究の趣旨を口頭で説明したうえで調査協力を依頼した。了承が得られた後、研究の趣旨・倫理的配慮等を記載した研究依頼書と無記名の自記式質問紙を人数配布し、各病棟に回収箱を設置した。調査期間終了後、看護部長と日程を調整し、回収箱を回収した。

3.4 質問紙の構成

質問紙は、情報活用能力測定尺度、クリティカルシンキング能力測定尺度と属性で構成した。尺度の開発者に使用許諾を得て使用した。

1) 情報活用能力測定尺度

高比良ら⁶⁾が開発した「情報活用の実践力尺度」を使用した。尺度は、〈収集力〉、〈判断力〉、〈表現力〉、〈処理

力〉、〈創造力〉、〈発信・伝達力〉の6下位尺度54項目で構成されている。回答方法は「1.まったく当てはまらない」から「7.非常に当てはまる」までの7段階のリッカートスケールである。この尺度の信頼性、基準関連妥当性は確認されている。

2) クリティカルシンキング能力測定尺度

常盤ら⁷⁾の「批判的思考態度尺度」を使用した。「懐疑的態度」「協同的態度」「根気強さ」「探究心」「論理的思考への自信」の5下位尺度15項目からなり、回答は「1.全くそうでない」から「5.非常にそうである」の5段階のリッカートスケールである。この尺度の信頼性、基準関連妥当性が確認されている。

3) 対象者の属性

年齢、性別、看護師経験年数、看護基礎教育課程、経験部署(内科系のみ、外科系のみ、複教科経験、その他)、パソコンやスマートフォンなどのインターネットを使用した情報収集の頻度の6項目で構成した。

3.5 データ分析方法

調査した測定尺度の下位尺度項目の平均得点を算出し、クリティカルシンキング能力と情報活用能力との関係は、Spearmanの順位相関係数を用いた。新人看護師と看護師の各尺度得点の差異は、正規性の検定により、Mann-WhitneyU検定を用いた。クリティカルシンキング能力への影響要因の分析は、クリティカルシンキング能力を従属変数、年齢、経験年数、看護基礎教育課程、経験部署、インターネット使用頻度など対象の属性、情報活用能力全体を独立変数とした重回帰分析(強制投入法、多重共線性の診断)を行った。看護基礎教育学歴、経験部署はダミー変数に変換して分析した。解析には統計分析プログラムSPSS20 for Windowsを用いた。

3.6 倫理的配慮

研究協力を依頼の際に、研究参加の説明文書と口頭で、研究目的、内容、所要時間、期間、匿名性の遵守、研究結果の公表の可能性、得られたデータの安全な保存と処理など具体的に説明した。また参加は自由意志であり、研究の同意は調査票の返信によるものとし、拒否しても不利益を被らないことを調査票に記載し文書で説明した。本研究は畿央大学研究倫理委員会の承認を得た(承認番号H24-3)。

4. 結果

4.1 分析対象者のプロフィール

回収は878名(回収率82.0%)、各尺度の回答に欠損がない新人看護師153名、看護師559名を有効回答とし、分析対象とした(有効回答率66.0%)。

表1 分析対象者のプロフィール

		新人看護師 n=153 (21.2)	看護師 n=559 (78.2)
平均年齢±SD (歳)		24.8±5.5	33.9±8.5
範囲 (歳)		20~45	22~62
経験年数±SD		0.7±0.5	8.7±8.3
範囲(年)	2~5年		163 (29.2)
	5~10年		160 (28.6)
	10~20年		148 (26.5)
	20年以上		88 (15.7)
性別	女性	149 (97.4)	519 (92.8)
	男性	4 (2.6)	40 (7.2)
看護基礎教育課程			
	看護専門学校	110 (71.9)	422 (75.5)
	看護短期大学	24 (15.7)	102 (18.2)
	看護大学	19 (12.4)	34 (6.1)
経験部署	内科系のみ	9 (5.9)	60 (10.7)
	外科系のみ	10 (6.5)	90 (16.1)
	複数科経験あり	29 (19.0)	343 (61.4)
	なし	105 (68.6)	66 (11.8)
インターネット使用頻度			
	毎日	99 (64.7)	289 (51.7)
	週に2,3回	37 (24.2)	126 (22.5)
	週に1回	12 (7.8)	71 (12.7)
	月に1回まれに	2 (1.3)	41 (7.4)
	使用しない	3 (2.0)	35 (6.3)

注. ()内は%

4.2 新人看護師のクリティカルシンキング能力および情報活用能力の特徴

1) 新人看護師のクリティカルシンキング能力の特徴 (表2)

新人看護師のクリティカルシンキング能力の全体平均値は 3.55±0.42 であった。下位尺度ごとの平均値を見ると、「協同的態度」が最も高く、最も低いのが「論理的思考への自信」であった。

2) 新人看護師の情報活用能力の特徴 (表3)

新人看護師の情報活用能力全体平均値は 4.24±0.43 であった。下位尺度平均値を見ると、〈収集力〉、〈発信・伝達力〉がともに最も高く、順に〈表現力〉、〈判断力〉、〈創造力〉、〈処理力〉であった。

4.3 新人看護師のクリティカルシンキング能力と情報活用能力との関連性

分析対象者 712 名のクリティカルシンキング能力全体と情報活用能力全体の平均値の相関は、相関係数 $r = .542$

であり、有意な正の相関を認めた ($p < .01$)。

新人看護師のクリティカルシンキング能力全体と情報活用能力全体の相関をみると (表4)、相関係数は $r = .449$ であり、有意な正の相関を認めた ($p < .01$)。クリティカルシンキング能力と情報活用能力の下位尺度間の相関では、相関係数 $r = .400$ 以上に注目すると、クリティカルシンキング能力の「探究心」と情報活用能力の〈創造力〉が最も有意な正の相関 ($r = .407$) を認めた ($p < .01$)。

4.4 新人看護師と看護師の比較

1) 新人看護師と看護師のクリティカルシンキング能力の比較 (表2参照)

新人看護師と看護師の平均値を比較すると、新人看護師は「探求心」が高かった ($p < .01$)、看護師は、「懐疑的態度」「論理的思考への自信」が高かった ($p < .01$)。なお、看護師の経験年数を卒後2年以上~5年未満、5年以上~10年未満、10年以上~20年未満、20年以上に分け、クリティカルシンキング能力平均値を比較すると「懐疑的態度」($p < .01$)「論理的思考へ

の自信」(p<.05)は新人看護師より5年以上～10年未満, 10年以上～20年未満, 20年以上と有意差を認めた。

2) 新人看護師と看護師の情報活用能力の比較 (表3参照)

新人看護師と看護師の情報活用能力下位尺度項目の平均値を比較すると〈表現力〉のみ有意差を認め、新

人看護師の方が高かった (p<.01)。

4.5 看護師のクリティカルシンキング能力と情報活用能力との関連性

看護師のクリティカルシンキング能力全体平均値と情報活用能力全体平均値の相関をみると(表5), 相関係数はr=.567であり, 有意な正の相関を認めた (p<.01)。

表2 新人看護師と看護師のクリティカルシンキング能力の比較

下位尺度	新人看護師 n=153 M±SD	看護師 n=559 M±SD	P	看護師経験年数 多重比較				項目
				2~ 5	5~ 10	10~ 20	20 ~	
協同的態度	3.99±0.54	3.92±0.47						5. 自分とは別の意見にも耳を傾けて考える 6. 頑固な態度にならないように気をつける 7. 他者の立場で考えてみる 8. 他者と協力して解決策を導き出す
根気強さ	3.65±0.70	3.60±0.73						9. 取り組んだことは途中で投げ出さない 10. 物事に困難さを感じても力を尽くそうとする
探究心	3.60±0.73	3.42±0.72	**	**	*			11. チャレンジ精神が旺盛である 12. いつも新しいことを知りたいと思う 13. 常に学びながら成長したい
懐疑的態度	3.25±0.55	3.40±0.52	**		*	*	*	1. 物事に対し、いつも偏った見方をしていないか自分に問いかける 2. 自分の考えが正しいか見直すようにしている 3. 物事をあらゆる角度から見るができる 4. 様々な考えを照らし合わせて結論を導き出すことができる
論理的思考への自信	3.08±0.67	3.40±0.65	**		**	**	**	14. 筋道たてて物事を考えることができる 15. 根拠に基づいて判断することができる

注. Mann-WhitneyU 検定

* p<.05 ** p<.01

表3 新人看護師と看護師の情報活用能力平均値の比較

下位尺度 (項目数)	新人看護師 n=153 M±SD	看護師 n=559 M±SD	p 値	項目
収集力 (10)	4.56±0.60	4.58±0.63	.963	1. 興味を持った事柄については、徹底的に情報を集める 10. 何でもひととおりに知っていたいという気持ちが人一倍強い 4. わからない事柄があったら、辞書や辞典をひく など
発信 伝達力 (10)	4.56±0.58	4.66±0.63	.244	47. 相手の反応に気を配りながら話す。 48. 大勢の前で発表するときは言うべきことを整理してから話す 51. 人に用件を伝えるときは、重要な部分に下線をひくなど相手が注目するように工夫する など
表現力 (8)	4.31±0.63	4.14±0.69	.005**	21. たくさん情報を集めたときは、似た内容ごとに分類する 24. ノートがわかりやすいと言われる 26. メモをとりながら文章を読む など
判断力 (8)	3.99±0.65	4.07±0.64	.660	11. 人から聞いた話が本当かどうかを、後で確かめる 16. 対立する意見はそれぞれの良し悪しを判断する 17. 噂を聞いたときにはどのくらい根拠があるかを確認するなど
創造力 (10)	3.97±0.64	3.98±0.70	.859	36. 物事を人とは違う観点から考えてみる 43. 人よりも良いものを作るように心がけている 44. 自分なりの考えを持つようになっている など
処理力 (8)	3.96±0.65	3.96±0.71	.118	28. 多くの資料を検討して、結論を導くのは得意である 29. 意見がたくさんあっても、うまくまとめることができる 30. 長い文章でも、その要点はたいい把握できる など

注. Mann-WhitneyU 検定

** p<.01

それぞれの項目のうちから3項目選択して記述した

表4 新人看護師のクリティカルシンキング能力と情報活用能力

n=153

クリティカルシンキング能力	情報活用能力						発信 伝達力	全体
	収集力	判断力	表現力	処理力	創造力	発信		
懐疑的態度	.231**	.329**	.275**	.208**	.312**	.297**	.378**	
協同的態度	.281**	.010	.178*	.067	.006	.293**	.209**	
根気強さ	.209**	.083	.202*	.049	.203*	.257**	.255**	
探究心	.348**	.212**	.221**	.091	.407**	.239**	.380**	
論理的思考への自信	.212**	.184*	.214**	.223**	.133	.219**	.243**	
全体	.390**	.227**	.297**	.170*	.345**	.375**	.449**	

注. Spearman の順位相関係数

** $\rho < .01$ (片側)

表5 看護師のクリティカルシンキング能力と情報活用能力の相関

n=559

クリティカルシンキング能力	情報活用能力						発信 伝達力	全体
	収集力	判断力	表現力	処理力	創造力	発信		
懐疑的態度	.365**	.438**	.301**	.409**	.410**	.377**	.509**	
協同的態度	.190**	.194**	.141**	.081	.005	.299**	.180**	
根気強さ	.351**	.293**	.252**	.213**	.254**	.281**	.372**	
探究心	.435**	.355**	.236**	.261**	.403**	.305**	.437**	
論理的思考への自信	.406**	.428**	.318**	.494**	.399**	.437**	.565**	
全体	.481**	.472**	.330**	.388**	.420**	.464**	.567**	

注. Spearman の順位相関係数

** $\rho < .01$ (片側)

クリティカルシンキング能力全体平均値と情報活用能力の下位尺度間との相関で相関係数 $r = .400$ 以上を抽出すると、高い順に情報活用能力の〈収集力, $r = .481$ 〉〈判断力, $r = .472$ 〉〈発信(伝達)力, $r = .464$ 〉〈創造力, $r = .420$ 〉と有意な正の相関を認めた ($p < .01$)。下位尺度間の関連では、クリティカルシンキング能力の「懐疑的態度」は情報活用能力の〈判断力, $r = .438$ 〉〈処理力, $r = .409$ 〉〈創造力, $r = .410$ 〉と、「探究心」は情報活用能力の〈収集力, $r = .435$ 〉〈創造力, $r = .403$ 〉と、「論理的思考への自信」は、〈収集力, $r = .406$ 〉〈判断力, $r = .428$ 〉〈処理力, $r = .494$ 〉〈発信・伝達力, $r = .437$ 〉と正の相関を認めた ($p < .01$)。

4.6 新人看護師のクリティカルシンキング能力に影響する要因

表6は、新人看護師のクリティカルシンキング能力への影響要因を示している。本研究の決定係数は $R^2 = .308$ あり、米川ら⁸⁾による、 R^2 が0.2~0.5の間であれば十分とする文献に基づき説明できると判断した。新人看護師のク

リティカルシンキング能力には、情報活用能力($\beta = .414, p < .05$)と、その中でも〈収集力〉($\beta = .175, p < .05$)、〈創造力〉($\beta = .144, p < .05$)、〈発信(伝達)力〉($\beta = .124, p < .05$)、さらに看護基礎教育課程の専門学校卒($\beta = -.250, p < .01$)が示された。

5. 考察

5.1 新人看護師のクリティカルシンキング能力および情報活用能力の特徴

新人看護師のクリティカルシンキング能力の特徴では、他者に聞いたり他の意見にも耳を傾けて考える「協同的態度」が看護師より高かったのは、新人看護師は実践場面での臨床判断が困難な状況であることから、自分の判断や行動が間違っていないか常に不安であり、聞いて確認するためではないかと考える。

新人看護師のクリティカルシンキング能力の特徴を看護師との比較から見ると、常に学びながら成長したいという「探究心」は新人看護師の方が高かった。平山ら⁹⁾の研

表6 新人看護師のクリティカルシンキング能力への影響要因

n=153

従属変数	独立変数	重回帰分析(強制投入法)					F値 (p値)	決定係数 (R ² 乗) 調整済み (R ² 乗)
		偏回帰 係数(B)	標準化 偏回帰 係数β	p値	Bの95.0% 信頼区間 下限 上限			
クリティカル シンキング 能力	年齢	-.006	-.083	.265	-.019	.004	7.14 (.000)	.358 .308
	看護基礎教育課程 (看護専門学校)	-.250	-.270	.004	-.417	-.082		
	看護基礎教育課程 (大学)	.010	.008	.928	-.210	.230		
	内科系のみ経験	-.142	-.141	.069	-.295	.011		
	複教科経験あり	.088	.100	.219	-.053	.229		
	インターネット使用頻度	-.022	-.048	.494	-.086	.042		
	情報活用能力	.414	.421	.000	.248	.525		
	収集力	.175	.252	.002	.063	.287		
	判断力	.040	.062	.480	-.072	.153		
	表現力	.037	.056	.508	-.074	.148		
	処理力	-.075	-.117	.176	-.185	.034		
	創造力	.144	.217	.011	.034	.254		
	発信伝達力	.124	.175	.026	.015	.234		

注. 列挙した変数は因子間の有意な相関(p<.05)が認められたもので、多重共線性の診断の後、重回帰分析(強制投入法)を用いた。看護基礎教育課程、経験部署はダミー変数に変換して分析した。

究においても、適切な結論を導き出すには「探究心」が重要であることを報告している。これは本研究の「探究心」と一致しており、クリティカルシンキングにおいて重要な態度であることが示唆された。

一方看護師より新人看護師の方が低かったのは、「懐疑的態度」や「論理的思考への自信」であった。丹羽ら¹⁰⁾の看護短大3年生に対するクリティカルシンキング能力の調査においても、「系統的」「証拠に基づいた推論を重視」する態度が低い結果が得られた。新人看護師は、自分の考えを常に見直し、様々な考えから結論を導き出す態度や、筋道立てて思考し、根拠に基づき判断するなどの態度が低い。経験を積み重ねることによって能力は高まっていくと予測される。

新人看護師の情報活用能力の特徴は、〈収集力〉〈発信・伝達力〉が高く、〈判断力〉〈創造力〉〈処理力〉が低いという結果であった。また、新人看護師と看護師の情報活用能力を比較した結果、〈表現力〉のみ新人看護師が高かった。〈表現力〉は、情報を理解するために、メモを取ったり、図や表を用いて整理・分類するなど適切な形式で表現する能力である。これらのことから新人看護師は、わから

ないことは他者に聞くなど様々な手段を使い情報を集めたり、得た情報をわかりやすく整理しようとするが、情報にどのくらい根拠があるかを確認したり、得た情報を分析し筋道だてて結論を導き出すことには困難さを感じることがうかがえる。なお、〈判断力〉〈創造力〉〈処理力〉は看護師も低く、いかに教育するかが課題である。

5.2 新人看護師のクリティカルシンキング能力と情報活用能力との関連性

新人看護師、看護師ともにクリティカルシンキング能力と情報活用能力は正の相関を認めた。これは、看護学生を対象に実施した先行研究の結果¹¹⁾と一致するものであった。

新人看護師は、クリティカルシンキング能力の「探究心」と情報活用能力の〈創造力〉が最も関連していたことから、いつも新しいことを知りたい、常に学びながら成長したいと、好奇心を持って探求する態度が備わっており、それは、自分なりの考えを持ち、さらには他者よりも良いものを考え創造しようとする能力と関連しているといえる。

一方看護師は、クリティカルシンキング能力の「懐疑的

態度」は情報活用能力の〈判断力〉〈処理力〉〈創造力〉、「探究心」は〈収集力〉〈創造力〉と、「論理的思考への自信」は〈収集力〉〈判断力〉〈処理力〉〈発信・伝達力〉と関連していた。これは、先行研究で情報活用能力の「収集・処理」「表現・発信」とクリティカルシンキング志向性の「偏りのない判断」「探究心」「根拠の重視」との間には関連性がみられた結果¹²⁾と一致する。

これらの結果から、クリティカルシンキング能力と情報活用能力とは関連していたが、新人看護師は看護師より関連性が低く、新人看護師のクリティカルシンキング能力を高めるためには、情報活用能力の、〈判断力〉、〈創造力〉、〈処理力〉などを育成する必要があると示唆された。

5.3 新人看護師のクリティカルシンキング能力に影響する要因

新人看護師のクリティカルシンキング能力には、情報活用能力と看護基礎教育課程の専門学校卒の2つのみが影響していたが、年齢、経験年数、経験部署、インターネットの使用頻度は影響因子として抽出されなかった。しかし、看護師としての経験を積み重ねることで高まっていくクリティカルシンキング能力には看護実践場面や卒業後教育、電子カルテの導入有無など、他にも様々な影響要因があるのではないかと考える。

また、新人看護師のクリティカルシンキング能力に専門学校卒が負の影響を示したのは、教育課程によるカリキュラムや教育内容、時間数の相違が考えられるが、新たな調査が必要である。

5.4 新人看護師の教育的課題

今回の調査結果から、クリティカルシンキングには「懐疑的態度」「探求心」「論理的思考への自信」が重要であり、その能力と関連している情報活用能力の〈処理力〉や〈創造力〉〈判断力〉〈発信・伝達力〉を高める教育が必要である。楠見¹³⁾は、クリティカルシンキングの問題解決能力や創造のスキルを育成する教育方法として、文章の批判的読解、映像視聴によるメディアの解説、レポートや論文などをあげており、分析的思考や創造性を高めることができる教育についてさらに明らかにすることが課題である。

また、Lunney¹⁴⁾は、事例でクリティカルシンキングプロセスを活用することによって、看護師は実際の臨床事例について、より明晰な思考ができるようになる、と述べており、事例分析をすることの大切さを強調している。事例分析によりクリティカルシンキングを繰り返し活用することによって思考能力の向上に繋がると考える。

6. 本研究の限界と今後の課題

今回の調査で、看護基礎教育の影響が伺えたように、情報活用能力以外の要因として、看護基礎教育におけるクリ

ティカルシンキングについての教育内容や程度、組織や管理、看護体制、現任教育、電子カルテや看護支援システムなどのコンピューターの導入、インターネット環境などについても丁寧な確認が必要と考えられた。今後は、クリティカルシンキングに影響するその他の要因を探ることと、新人看護師の「懐疑的態度」や「論理的思考」、〈処理力〉や〈判断力〉を高める教育を明らかにし、実践することが課題である。

7. 結論

- 1) 新人看護師のクリティカルシンキング能力の特徴は、看護師と比較して「探求心」が有意に高く、「懐疑的態度」、
「論理的思考への自信」が低かった。
- 2) 新人看護師の情報活用能力の特徴は、看護師と比較して〈表現力〉が有意に高かった。
- 3) 新人看護師のクリティカルシンキング能力と情報活用能力は有意な相関がみられた。特に「探求心」と〈創造力〉の相関が高かった。
- 4) 新人看護師のクリティカルシンキング能力に関する要因として情報活用能力全体と、具体的には〈収集力〉〈創造力〉〈発信・伝達力〉が抽出された。

謝辞

この研究を進めるにあたり、お忙しい中、ご協力いただきました、3病院の看護部長様はじめ看護師の皆様へ感謝申し上げます。

本論文の一部は第24回日本看護学教育学会で発表した。

(利益相反について)

本研究における利益相反は存在しない。

(2019.1.29- 投稿, 2019.2.27- 受理)

文 献

- 1) 松谷美和子, 三浦友理子・他. 看護実践能力, 概念, 構造, および評価. 聖路加看護学雑誌, 14 (2), 18-27, 2010.
- 2) 松寄英士. 看護学生の情報活用能力がクリティカルシンキングに対する志向性と学習におけるメタ認知に及ぼす効果. 日本看護研究学会雑誌, 27 (5), 73-81, 2004.
- 3) 文部科学省. 情報化の進展に対応した教育環境の実現に向けて(情報化の進展に対応した初等中等教育における情報教育の推進等に関する調査研究協力者会議 最終報告)
http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/286794/www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/002/toushin/980801.htm.
(閲覧日: 2013年7月21日)
- 4) 今井多樹子, 尾端博子・他. 看護学生と新卒看護師の情報活用

- 能力の現状に関する分析. 国立病院看護研究学会誌, 5 (1), 11-19, 2009.
- 5) Zechmeister, E.B.&Johnson, J.E. (1992) /宮本博章, 道田泰司・他訳. あなたの思考をガイドするプラス 50 の原則クリティカルシンキング (入門編). 北大路書房, 東京, 1996, 242-249.
- 6) 高比良美詠子, 坂元章・他. 情報活用の実践力尺度. 堀 洋道, 吉田富二雄, 宮本 聡介. 心理測定尺度集V個人から社会へ〈自己・対人関係・価値観〉サイエンス社, 東京, 2011, 282-289.
- 7) 常盤文枝, 山口乃生子・他. 看護基礎教育における批判的思考態度を測定する尺度の信頼性と妥当性の検討. 日本看護教育学会誌, 20 (1), 63-71, 2010.
- 8) 米川和雄, 山崎貞政. 超初心者向け SPSS 統計解析マニュアル. 北大路書房, 東京, 2010, 92-93.
- 9) 平山るみ, 楠見孝. 批判的思考態度が結論導出プロセスに及ぼす影響－証拠評価と結論生成課題を用いての検討. 教育心理学研究, 52, 186-198, 2004.
- 10) 丹羽淳子, 安達祐子・他. 卒業時の学生自己評価からみた看護診断過程とクリティカルシンキング. 日本赤十字武蔵野短期大学紀要, 13, 27-36, 2000.
- 11) 2) 再掲
- 12) 2) 再掲
- 13) 楠見孝, 津波古澄子. 看護におけるクリティカルシンキング教育. 医学書院, 東京, 2017, p.21-24.
- 14) Lunney, M. /小笠原知枝, 江本愛子・他訳. 事例に基づく看護診断の正確性の検証. プレーン出版, 東京, 2002, p. 21.

The Characteristics and Association between Critical Thinking Ability and Information Literacy in Novice Nurses

Yuri KOBAYASHI*

Chie OGASAWARA**

Mayumi KAWAI***

Yumiko NAKAI****

Yasumi HARIKANE*

Yuri TAINAKA****

Sachie ARAI*****

Akiko ITO*****

* Faculty of Health Sciences, NARAGAKUEN University. (3-15-1, Nakatomioka, Nara-City, 631-8524, JAPAN)

** University of Human Environments, Graduate School of Nursing (3-220, Ebata-cho, Obu-City, Aichi, 474-0035, JAPAN)

*** Aino University Junior College (11-1, Aobaoka, Tondabayashi-City, Osaka, 584-0076, JAPAN)

****Kio University Faculty of Health Science (4-2-2, Umaminaka, Koryo, KitaKatsuragi, Nara, 635-0832, JAPAN)

***** Konan Women's University Faculty of Nursing and Rehabilitation (6-2-23, Morikita-machi, Higashinada-ku, Kobe, 658-0001, JAPAN)

*****Kio University Faculty of Health Science (4-2-2, Umaminaka, Koryo, KitaKatsuragi, Nara, 635-0832, JAPAN)

Abstract

Objective:

This study aimed to clarify the characteristics of and the association between critical thinking ability and information literacy in novice nurses.

Methods:

A questionnaire survey was conducted on 712 nurses. The questionnaire was composed of questions on attributes, a scale and two scales: critical thinking disposition scale and information utilization ability scale. Analysis was done using descriptive statistics to examine the characteristics of attributes and Spearman's rank correlation coefficient and multiple regression analysis to examine associations.

Results:

In terms of critical thinking ability, novice nurses had a strong cooperative attitude and had a more inquiring mind and less confidence in logical thinking compared with more experienced nurses. In terms of information literacy, novice nurses had a strong ability to collect, transmit, and communicate information, and had greater expressive power than more experienced nurses. Critical thinking ability and information literacy were significantly associated in novice nurses ($r = 0.449$, $p < 0.1$) and information literacy and the basic nursing education course had an impact on novice nurses' critical thinking ability.

Conclusions:

The ability to judge, create, and process information needs to be fostered as part of the information literacy of novice nurses in order to cultivate their critical thinking ability.

Key Word : Novice Nurses, Critical Thinking, Information Literacy

